

〔科目名〕 経済特殊講義Ⅱ				〔単位数〕 2単位		〔科目区分〕 専門科目 展開科目	
〔担当者〕 秋葉まり子・丸山千賀子			〔オフィス・アワー〕 時間： 集中講義期間の休憩時間及び授業後 場所： 非常勤講師控室			〔授業の方法〕 講義	
〔科目の概要〕 <p>情報化や環境問題、多様なライフスタイルなど、現代社会は複雑な課題に直面している。企業には、単なる利益追求だけでなく、消費者の視点を取り入れた「消費者志向経営」が求められている。これは SDGs 時代における「サステナブル経営」であり、持続可能な社会を実現するための新しい企業のあり方である。この授業では、未来を創る消費者の視点から、持続可能な社会について考える。</p> <p>本授業の前半では、日々の暮らしと経済のつながりを深く掘り下げる。家計の活動から金融の仕組みまで、生活経済の動きとそれが生み出す課題を理解する(秋葉担当)。</p> <p>後半では、企業が消費者と向き合い、持続可能な社会を築く具体的な方法を学ぶ。企業不祥事の事例から、SDGs、エシカル消費、シェアリングエコノミーといった最先端のテーマまで、資料や映像を使いながら「消費者志向経営」の最前線を探る(丸山担当)。</p> <p>この授業を通して、消費者の“社会を動かす「当事者」”としての視点を養う。未来の経済社会を「自分ごと」として捉え、新たな気づきと可能性を提供する。</p>							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>本科目では、現代社会の複雑な課題や消費者の多様な問題を踏まえ、経済の仕組みや社会システムの移り変わりを広い視野で捉える。特に、消費者の視点から企業経営を考察し、行政・企業・消費者の三者が協力して新しい社会システムを築くことを目指す。</p> <p>変化の激しい社会で直面する経済生活の課題を見つけ、その解決策をさまざまな角度から検討する。これにより、自立した消費者として、社会における経済活動のあり方を探求する姿勢と能力を身につけることを目指す。</p> <p>この学びを通じて、生活に役立つ経済の知識が深まるだけでなく、企業と消費者の新しい関係性や連携についても理解が進む。これは、就職活動の面接など、キャリア形成に直接つながる実践的な学びとなる。</p>							
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>この授業では、消費と経済社会の基本的な知識を理解し、各自が学問領域を広げ、現代の様々な問題を見つけ出す「問題発見能力」、そして物事を深く見抜く「洞察力」と、論理的に分析する「分析力」を養うことを中間目標とする。</p> <p>最終的には、我々が暮らす社会とその仕組みがどう変化しているかを深く理解し、今まさに直面している具体的な問題や地域の経済的な課題に焦点を当てる。これらの学びを通して、生活経済をより広い視点から、総合的かつ具体的に理解することがこの授業の最終的な目標である。</p>							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
			○		○		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>講義内容に合わせて、様々な関連文献・映像資料を使って、具体的でわかりやすく、興味を持てる授業にするよう工夫している。</p>							
〔教科書〕 丸山千賀子 『消費者志向経営 企業と商品・サービスについて考える』 開成出版							

〔指定図書〕	
〔参考書〕	
〔前提科目〕	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 2回の小テストの他、授業中に小レポートや練習問題を課す。	
〔評価の基準及びスケール〕 2回の小テストにより評価する。 レポート課題・授業への参加姿勢も評価する。 ・小レポート・授業の参加態度 10% ・小テスト(2回) 90%	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 丸山担当部分では、教科書を授業で使うほか、試験時には持ち込みを前提とする課題を出しますので、授業時には必ず教科書を持ってきてください。なお、試験時に持ち込む教科書は、他人の書き込みやアンダーライン等、解答のヒントとなる形跡があるものは認められません(自分で書き込んだものについては可)ので、注意してください。 秋葉担当部分は、授業用資料を配布し、試験への持ち込みを可とします。	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 家計の所得と消費・貯蓄について 内 容: 消費と貯蓄の基礎理論 資料配布
第2回	テーマ(何を学ぶか): 日本の家計貯蓄の現状 内 容: (1)家計の貯蓄率の変化 資料配布
第3回	テーマ(何を学ぶか): 家計の金融資産について 内 容: (2)金融資産のグローバル化 資料配布
第4回	テーマ(何を学ぶか): 生活とリスク管理 内 容: (1)社会保障制度と保険 資料配布
第5回	テーマ(何を学ぶか): 生活とリスク管理 内 容: (2)消費者金融について 資料配布
第6回	テーマ(何を学ぶか): 第1回～第5回までの内容のまとめと小テスト

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): インTRODクシヨN</p> <p>内 容: 消費者政策と企業経営の関係について考える。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 消費者志向経営とは何か</p> <p>内 容: 消費者志向経営の意義と注目されてきた社会的背景について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業の社会的責任(CSR)と消費者志向経営</p> <p>内 容: 企業の社会的責任(CSR)からみた消費者志向経営の意義について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 消費者の視点を考慮した商品とサービス</p> <p>内 容: オープンイノベーション・商品コンセプトについても考える。無印良品の事例や、成功した商品コンセプトの作り方について映像も併せて参照する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 消費者志向経営が社会に及ぼす効果</p> <p>内 容: 企業・消費者・社会の面から消費者志向経営の影響を解説する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 情報開示の重要性について</p> <p>内 容: 情報開示の重要性について整理するとともに、企業不祥事の事例を紹介する。内部告発から企業不祥事が明らかになった事例を紹介する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 消費社会の様々な環境変化(1)</p> <p>内 容: SDGsとESG投資</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 消費社会の様々な環境変化(2)</p> <p>内 容: シェアリングエコノミーなど、最近のテーマについて取り上げる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 全体のまとめと小テスト</p> <p>内 容: 第7回から第14回までのまとめと小テスト</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	